## 第51号

•「庄川左岸地区」完工特集

## (2面)

- ・令和6年度とやま水土里フォーラム
- · 令和 6 年度富山県多面的機能支払研修会
- ·「種田地区」完工式

きな防災効果を発揮しています。

・中山間地域保全パートナーシップ協定の締結

農業用用排水施

農地の湛

## 5

令和6年11月29日

富山県砺波農林振興センター 農業農村整備広報・広聴連絡会議 〒939-1386 砺波市幸町1番7号

電話(0763)32-8124【指導課】

止することにより、 設の排水能力を回復させ、 れました。 関係者等約19人の出席のもと行わ 小矢部、南砺の4市長や土地改良区 及び農業経営の安定を図ることであ 左岸地区」の完工式が令和6年 9日(水)、受益地である高岡、 国営附帯県営農地防災事業 本事業の目的は、 ≪工事期間≫ 農業用用排水施設等の被害を防 15 年間

砺波、

≪事業内容≫

「庄川

10 月

水路: L=39.2km (20路線)

【砺波管内:L=20.9km(14路線)】

調整池:7ヶ所 【砺波管内:4ヶ所】

水管理施設(中央管理所):1式

≪総事業費≫ 244 億 4 千万円 庄川左岸地区

 $\mathcal{O}$ 豪雨が増加していますが、 整備しました。 排水路20路線計 農地防災事業に続いて平成22年度 り、受益地は4市合わせて約212 7 カ に県営事業として着手し、 7月豪雨でも被害がなく、既に大 近年、 平 所、 成 21年度に着手した国営総合 排水の 局部的に短時間で降る集中 令和5年 ha

一元管理システムを 39.2 kmや洪水調整池 農業用用 祝 国営附带県営農地防災事業庄川左岸地区完工

> 庄川左岸地区完工式 知事挨拶 (令和6年10

農業生産の維持

事業経過報告

庄川左岸地区 事業経過報告

完工式列席者



(平成22年度~平成28

期地区



(平成24年度~平成29年度) 一期地区







(平成29年度~令 三期 地 区 和5年度)







(平成30年度~令和5年度) 四期地区 を行っている同地区での取組をご紹介いただきました。 数集落の緩やかな連携について、実際に8つの集落で活 れました。また、入善町の青木地区

高澤英輝氏からは複

和

6

度

富

Щ

県多

面

的

機

能支払

推

進

研

修会

## 令 和 6 年度とやま水土里フ オ ラ $\Delta$

ラーレにおいて「とやま水土里フォーラム」が開催されま 令 和 年 10 月 17 日 (木) に黒部市国際文化センター

日

(火) に瘧師県議会議員、

齊藤副市長、

田

地

X

完

工

位や用水調整等を行い、土地改良施設の維持管理や、 的機能の発揮、土地改良事業を契機とした農村地域の振興 理し、日常の維持管理だけでなく加え大雨前後のため池水 ら林道地内の防災重点ため池である「打尾谷ため池」を管 土里賞を受賞されました(写真①)。 に尽力したことが評価され、今回授与されました。 山田八司氏 山田氏は平成24年か (南砺市) がとやま水

高校農業科の生徒からパネリストの方に「これからの農業 業を支える多様な担い手、つなぐ未来」と題したパネルデ はもっと女性も働きやすい環境になっていきますか?」 昨年度同様農業高校の学生が参加しており、参加した入善 「農業の魅力は何ですか?」等、多くのの質問が出ていま スカッションが行われました。今回のフォーラムでは、 表彰式後は、受賞団体による事例発表及び「とやまの農



受賞された山田氏

023m、区画整理

h a

② 種田地区 自動給水栓

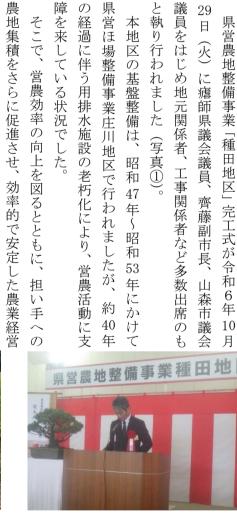
参加した高校生からの質問

営農効率の向上を図るとともに、

障を来している状況でした。 の経過に伴う用排水施設の老朽化により、 の継続と発展を図るため、平成29年度に「種田地区」が 県営ほ場整備事業庄川地区で行われましたが、 農地集積をさらに促進させ、 水路整備16,

を図りました(写真②)。 給水栓を211基設置し、 の実施に合わせ、先進的な取り組みとして多機能型自動 水管理の省力化や作業の軽減 0.8 客 土 1.8

に満ち溢れた農業農村づくりが期待されます。 整備された用排水路などを最大限利用し、ますます活力 働き手の高齢化、担い手の多様化が進んでいく中で、



① 種田地区 完工式

## 間 地 域 保 全パ ナ ツ ブ 協 定 $\mathcal{O}$

中

石積み棚田の修復や農作業などの活動を行ってき 地域社会のあり方を研究していたことから、 楮集落と筑波大学世界遺産学学位プログラムが、 ました。 楮集落では、 令和6年9月13日 トナーシップ協定を締結されました。(写真①)。 (写真②)。 以前より棚田を保全する活動が行わ 筑波大学では世界遺産のある地域 世界遺産の保護やその (旧上平村)

研修会の様子

非農家の参画促進、複数集落の緩やかな連携」を掲げ、

研修テーマに「人口減少社会を見据えた地域の若年層

00人の方が参加しました。

ル) において標記研修会が開催され、県内から約1,

10

月

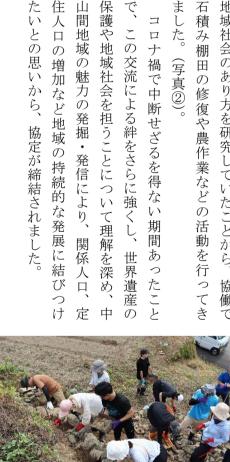
30 日

(水) に富山産業展示館

0 ホ

ネットワークの竹中忠氏が、土地改良区及び営農組織と一 例紹介では、福井県小浜市の一般社団法人 宮川グリーン

体となった円滑な地域運営体制の構築についてご講演さ



たいとの思いから、

山間地域の魅力の発掘・発信により、

棚田の保全活動

、農地整備第

班

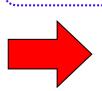
記



① 協定締結式

# 【農村・農地施策の窓】水と緑と伝統文化を活か した田園空間づくり 水と緑と伝統文化を活かした田園空間づくり

ブログやっています。 "とやま水土里探訪ブログ"で検索を! http://facebook.com/toyama.nousonsebi



☆砺波農林振興センター 管内の情報をホームページで発信中!! https://www.pref.toyama.jp/1633/r5tonaminourin.html





# 編集後記

でしょうか。今後はより 込みを感じられるようになり、 始めて 年よりも積雪量の増加が見込まれ 近づいてきました。 いたかと思えば、 つい最近まで記録的な残暑が続た。月日の流れは非常に早いも ・時期ですが、 朝晩の急激な冷え 、ぼちぼち冬支度うになり、冬本番 一層寒くなり 皆様はどう て NO

ます。 まし 今年も残すところ1ヵ月ほどと 通勤と体調管理に十分気を付